

OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2018年6月

一般社団法人大阪府サッカー協会



OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾 (OFA GKアカデミーGKコーチ)

6月に入ってからクロスへの対応を重点的に取り組んできました。クロスへの対応は空間認知能力が必要となってくるので回数を出るだけ多く取るようにしました。また、ポジショニングや予測から判断して決断、そしてボールに対してのアプローチするテクニックなどの部分もその都度修正しながら行いました。選手達は始め、かぶってしまうのを恐れ、ボールに対してチャレンジすることができませんでした。そこでクロスはなぜ上がってくるのか。相手との接触を恐れず積極的にプレーすることを心掛けるようになったらボールへチャレンジすることができるようになっていきました。まだまだ改善点はたくさんありますが積極性をもってトライし続けていきたいと思っています。クロスがキャッチできるになったらディストリビューション(配給)も正確に行わなければなりません。効果的な攻撃参加は現代GKの大きな役割なので左右同じように正確に蹴る、投げる事が必要となってきます。まずは状況を見てどこが空いているのか、ゴールを優先的に誰を使ったら効果的なのか、その判断を大切にしていきたいと思っています。技術的な部分でミスに繋がってしまっても判断がよければ、テクニックを修正すればいいので選手達にはポジティブな声掛けをするようにしています。6月はワールドカップが始まり選手達たちに目指すべきところをもう一度話し合いました。アカデミー活動とチーム活動で同じように意識を持って取り組んでいるか。自分の目標を逆算して正しい努力が出来ているかなどを話し合いました。自立した大人に成長する為にも自分でやるべきことを判断して実行、そして継続できる人間になってもらう為にサポートしていきたいと思っています。



OFA GKスクール

文責：櫛引 実 (JFAアカデミー堺GKコーチ)

今月はU-12は1回、U-15は2回でした。U-12はもう1コマ6月18日に予定していましたが、大阪北部地震のためにJ-GREEN堺の施設利用が出来なくなり中止となりました。その為、4日レッスン3(ステッピング)のみとなりました。U-15は6月11日(月)レッスン4(ローリングダウン)、25日(月)レッスン5(ダイビングキャッチ)を行いました。U-12のレッスン3では、サイドステップとクロスステップを中心に指導しました。そのステップの切り替えも伝えました。どちらのステップを選択するかは状況によって自分で判断する事が必要になりますが、最後のゲームではクロスステップから構えてシュートストップや、クロスステップで移動しながらキャッチングをするという場面が多く見られました。U-12は参加人数も多く、中々細かい指導が行き届いていませんが、良いプレーがたくさん出たという印象でした。U-15のレッスン4(ローリングダウン)はとにかく安全に、という事(関節を打たないで、下から順番に)、正確な構えから前方(ボールに対して最短距離)でボールを触る事、グラウンダーのボールは手を低く壁にする事にフォーカスしました。更に、25日(月)レッスン5(ダイビングキャッチ)でも同様に安全を一番に進めました。ローリングダウンを復習して、そこから発展させてしっかり地面を蹴るように指導しました。段階をしっかりと踏んでトレーニングを進めたので、最後のシュート練習やゲームではポジショニングも理解し、良い構えから良い反応が出来るようになっていました。U-15は逆に参加人数がいつも少なく、2人のコーチでかなり細かいところまで指導できて、時間もたっぷりと使えています。そのおかげでU-15ではトレーニング中に上達しているのが分かります。後は、所属先でも意識して継続してトレーニングをしてもらえればと思います。



協賛

関西ユニバール株式会社、ユアサM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL : 06-6441-5881 (平日10:00~18:00) FAX : 06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>